



学校だより

わかまつ

鈴鹿市立若松小学校

№30

令和6年2月19日

5年「のりこえていく力」の授業



2月1日(木), 14日(水)に子どもたちが思春期を乗り越え、人間的に成長していく必要性や大切さを実感できるように、鈴鹿市教育委員会の橋本先生から5年生が「のりこえていく力」の授業を受けました。1回目の授業では、「のりこえていく力」として大切なことは、物事をきちんと「見

る」、「聞く」、「話す」であり、その中で「見る」に焦点を当て、ひとつの見方にとらわれすぎないように、「だまし絵」を見ながら物事をきちんと見ることの大切さをグループで話し合いました。また、「りんご台風」のエピソードから困難を乗り越えた農家の人たちが、どこに着目していたかを話し合い、プラスの見方をするものの大切さや、絵本の読み聞かせで、自分のよいところやありのままの自分を否定せず見るものの大切さを確認しました。2回目の授業では、リフレーミング(マイナスに見えることをプラスの面から言い換えること)について知り、みんなが一人ひとりの力を引き出すためにマイナスをプラスに変える見方・考え方を大切にしながら「のりこえていく力」を身につけ、助け合っ



てともに成長することを学びました。

6年「いじめ予防授業」



2月2日(金)の5,6限に、6年生が三重県弁護士会法教育委員会の庄司弁護士、北上弁護士から「自律と他者への尊重を育む授業」を受けました。一人ひとりが尊重される社会(みんな違って、みんないい)をテーマにさまざまな事例を多角的にとらえることで、「いじめをしない、させ

ない」心を育むことを目的としています。子どもたちにとって身近な学校内の日常的なトラブルを取り上げ、物事を一面的にとらえてしまいがちなことをみんなで考えました。また、多角的に物事をとらえることでトラブルや争いを解決できるよう、対人関係を円滑に進める考え方を学びました。中学生になっても相手の考えや思いを受け取り、相手の身になって思いやることができる、相手を尊重できる人になってもらいたいと思います。

6年「歯の指導」を受けました！



2月15日(木)1限に、6年生が学校歯科医師の榮先生から歯についての授業と歯科衛生士さんから歯の正しいみがき方の指導を受けました。毎年、卒業前に「卒業生へのお祝い授業」として歯のことを教えてもらっています。歯のしくみや虫歯予防、歯周病にならないための生活習慣などにつ

いてパワーポイントでくわしく説明いただき理解を深めました。虫歯予防には、食後の歯みがきが大切ですが、それ以外にも「ゆっくりかんで食べる」、「規則正しい食事のリズムを作る」などを心がける必要があります。また、よくかんで食べることの大切さについて「ひみこの歯がい〜ぜ」という合言葉を教えてもらい、「ひ肥満予防」、「み味覚をよくする」、「この言葉の発音がはっきり」など、よくかむと歯だけでなく、脳や胃腸の働き、全身の体力アップにもつながるとのことです。

歯科衛生士さんからは、歯と歯ブラシの模型をつかって、みがきにくい場所やみがき残しのある場所がどこであるか、どうやってみがくかを示してもらい、歯周病予防のための正しいみがき方を指導していただきました。これからも歯を大切にして自分の歯と一生つき合っていってほしいです。



学校保健委員会を開催しました



2月15日(木)に学校保健委員会を学校医、学校歯科医、薬剤師、PTA会長、校長、教頭、養護教諭、給食調理員の8名で開催しました。前半は、若松小学校の健康診断や歯科検診、視力検査の結果を養護教諭から報告しました。後半は、本校で毎年

行っているアレルギー対応研修や給食の除去食対応などについて現状を報告して意見交換を行いました。各委員からたくさんの貴重なご意見をいただきました。アレルギー対応研修の内容の見直しなど今後に生かしていきます。



募集！ 給食調理のパートタイム職員さん

若松小学校では、給食調理に係る代替要員及び補助員さんを募集しています。ご希望のある方がみえたら若松小学校(385-0072)までご連絡をお願いします。勤務時間、賃金等の詳細については連絡いただいた際にお知らせします。